

令和 5 年 5 月 10 日現在

機関番号：24601

研究種目：若手研究

研究期間：2018～2022

課題番号：18K17390

研究課題名（和文）全診療報酬情報を用いた糖尿病診療の時空間疫学分析

研究課題名（英文）Spatio and Temporal Epidemiological Analysis of Diabetes Care Using Administrative Claims Database

研究代表者

西岡 祐一（Nishioka, Yuichi）

奈良県立医科大学・医学部・助教

研究者番号：50812351

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,200,000円

研究成果の概要（和文）：レセプトビッグデータ解析の日本における標準となりうるレセプトから糖尿病/1型糖尿病の有無を判定するアルゴリズムを構築、重症低血糖と急性冠症候群の関連について分析疫学研究を実施した。さらにインフルエンザと1型糖尿病発症が関連するという仮説を見出し、自己対照ケースシリーズ研究のデザインを用いて、インフルエンザ罹患後180日で1型糖尿病の発症がその他の期間に比べて増加することを明らかにした。また、レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）を用いた糖尿病の臨床疫学研究を実施するとともに、レセプト研究実施に必要な基盤を公表することでレセプトを用いた臨床研究に貢献してきた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究で開発した糖尿病・1型糖尿病をレセプト上で判定するためのロジックは、バリデーションを実施した上で論文化し公表している。これらを用いた臨床疫学研究も複数実施し論文化することができた。さらに本研究成果の一部である名寄せ技術及び死亡判定ロジックについては、それぞれ第三者による特許取得防止のために特許出願したが、出願審査請求は行っておらず、いわゆる特許権は発生していない。これらのプログラム等はNDBやその他レセプトデータ等の分析を予定されている研究者に必要なに応じて研究者に提供することで、本研究はレセプトデータの解析基盤技術開発とその普及という観点でも貢献している。

研究成果の概要（英文）：In this study, algorithms were constructed to determine the presence of diabetes/type 1 diabetes from receipts that could become the standard for administrative claims data analysis, and an analytical epidemiological study was performed on the association between severe hypoglycemia and acute coronary syndrome. Furthermore, we found the hypothesis that influenza was associated with the development of type 1 diabetes. Using a self-controlled case series design, it was shown that the incidence of type 1 diabetes increased 180 days after influenza infection compared to the other time periods. In addition, this study has contributed to society by conducting clinical epidemiological studies of diabetes using the National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan (NDB) and by publishing the infrastructure necessary for conducting receipt studies for administrative claims data.

研究分野：公衆衛生学

キーワード：レセプト情報・特定健診等情報データベース NDB 糖尿病 時空間疫学 ビッグデータ Claims Database バリデーション データベース医学

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

本研究の概要

日本の診療情報(レセプト)データは、個人別、医療機関別、月別で集計され、「レセプト情報・特定健診等情報データベース」として蓄積されている。これは日本の保険診療の全診療情報であるが、従来の研究は個人の識別性の問題から、度数分布など単純集計の範囲に留まっていた。研究代表者らは平成 29 年に個人の識別性を高め、「レセプト枚数」に基づく分析を「患者数」に基づく分析へ進展させることに成功した。これによって、分析疫学研究の素地が整った。本研究は、全診療報酬情報を用いた初めてのコホート研究である。糖尿病治療の現状を把握すべく、糖尿病治療薬処方の方経時的な推移や地域差を明らかにする。その後、糖尿病患者約 770 万人を対象とした大規模コホート研究を実施する。コホート研究実施に際し、糖尿病専門家及び疫学専門家と密な議論を重ねる。新たな知見は学会発表や論文などを通して速やかに発信していく。

日本の糖尿病患者数・糖尿病薬物療法の現状

世界保健機関による糖尿病についてのグローバルな報告(Global Report on Diabetes)によれば、平成 27 年の糖尿病人口は世界で 4 億 1500 万人に達する。糖尿病の合併症は患者の QOL を低下させるばかりでなく、社会的にも労働損失や医療費の増加をもたらす。社会的な対策を講じるためにも、治療に係る継続したエビデンスの創出が求められている。本研究では、糖尿病治療の中でも薬物療法に焦点を当てる。薬物療法は、有効な糖尿病治療法の 1 つである。日本では糖尿病薬として、さまざまな内服薬、注射薬が使用されており、作用機序や効果時間、特性の異なる薬剤を組み合わせ、糖尿病患者の年齢、併存疾患、日常生活、生活環境に合わせて、多様性に富んだ治療が行われている。しかし、日本では糖尿病薬物療法の現状は把握できておらず、糖尿病患者数でさえ推計間のばらつきが大きい現状がある。たとえば、糖尿病患者数の推計値は平成 26 年の患者調査で 316 万 6000 人、平成 28 年の国民健康栄養調査で 1000 万人となっている。研究代表者らは、平成 25-27 年度の全診療報酬情報を用いて、糖尿病薬処方患者数を初めて集計し、毎年およそ 770 万人であることを明らかにした。

疫学研究の必要性

日本には糖尿病患者を全数登録、あるいは無作為抽出して登録するシステムが存在せず、糖尿病薬処方の地域差や組み合わせについての全国調査はない。糖尿病領域における大規模臨床研究としては、林野ら(Diabetic Medicine 33.5 (2016): 599-608)や、田中ら(BMJ Open Diabetes Research and Care, 4(1), e000291)により日本の糖尿病診療の質(プロセス指標)が明らかにされてきた。しかしながら、糖尿病治療薬処方の経時的な推移や地域差は明らかになっていない。糖尿病は医療計画に記載すべき 5 疾病の 1 つであり、全保険診療情報を用いて事象の頻度を明らかにすることは、糖尿病に対する有効な対策樹立に必須である。

レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)の研究

NDB とは、病院等から国に送信される電子レセプトデータと特定健診等のデータを個人が特定されないように一部の情報を暗号化・削除した上で、格納・構築されているデータベースである。厚生労働省から提供され、研究に活用することができる。平成 21 年 4 月~平成 28 年 12 月診療分で約 128 億 8,400 万件(平成 29 年 3 月末時点)のレセプトデータが蓄積されるなど、世界最大級の健康関連データベースであり、有効に活用することで各種の臨床研究、政策研究が強力に推進できる。しかし、NDB には利用上の注意を要する複雑な構造が見受けられ、研究利用は簡単ではない。レセプトデータは、1 人の患者に対し、医療機関単位、1 ヶ月単位で送信されている。患者が複数月に渡って受診したり、同一月に複数の医療機関を受診したりすることは頻繁にあるため、同一患者の複数レセプトをつなぎ合わせるための紐づけである「名寄せ」作業を行わなければ、個人単位での分析を行うことはできない。もともと同一患者のレセプトを紐付ける変数として、「ID1」と「ID2」が用意されているが、就職・転職や氏名の表記ゆれ等で容易に変わり得る。これらを含めた利用の難しさから、これまで NDB は部分的な活用にとどまっていた。研究代表者らは、NDB における名寄せ手法の改善に関する研究を行ってきた。種々の工夫により名寄せの効率を高めた新たな個人 ID (ID0) を提案し、その妥当性を検証した。

本研究の新規性と学術的重要性

本研究は NDB を用いた初のコホート研究である。本研究では、NDB をレセプト単位ではなく、研究代表者らが開発した ID0 を用いて個人単位で分析する。これにより、処方の変遷を個人単位で追跡できるようになる。従来は精度の高い個人識別 ID が存在しなかったため、個人単位の分析は困難であった。本研究では、個人単位での分析を実施し、糖尿病治療状況の経時的変化や地域差、さらには薬剤処方とアウトカム発生率の関連を明らかにしていく。また、日本は国民皆保険制度を有しており、NDB は全国民の保険診療の全数コホートという研究を行うことができる世界に類を見ないデータベースである。糖尿病薬処方患者約 770 万人のコホート研究から得られた糖尿病の発症予防、重症化予防、合併症治療を考える上で重要な知見を、世界に広く発信していく。糖尿病診療に関する科学的根拠を提供し、世界中の糖尿病診療に貢献する。

2. 研究の目的

本研究の目的は、日本の糖尿病診療の現状を可視化し、最終的に糖尿病治療法と予後の関係を明らかにすることである。

本研究では、全診療報酬情報を用いて、糖尿病診療に関する時空間疫学分析を実施する。全診療報酬情報には、受診日や受診医療機関所在地に関する情報が記載されている。これまで日本では分からなかった、時期（年度や季節、月、曜日）、新薬上市後の経過月数、地理（都道府県・二次医療圏、市町村）、病院診療所の別などによる治療内容の違い（statics）及び変化の違い（dynamics）を明らかにし、治療内容と予後の関連について種々のコホート研究を実施する。

3. 研究の方法

研究開始当初の研究方法および研究計画

本研究は、平成30年度～令和4年度の5年間で実施する。

NDBを利用し、糖尿病傷病名が付され、かつ糖尿病薬が処方されたID0を対象ID0とする。対象ID0を有する全てのレセプトを本研究の分析対象とし、データベースの形で抽出する。データベースから、研究テーマごとに必要な情報を、データベース管理システム、Microsoft SQL Serverを用いて切り出し、統計ソフトで分析できる形に加工し、順次時空間疫学分析を行う。

(1) 糖尿病患者数（病型、地域分布）（平成30年4月～9月）

糖尿病患者数集計をより精緻化し、本研究で扱う糖尿病患者の抽出方法を明確に規定する。さらに治療法や加算、病名などから、日本で初めてとなる1型糖尿病・2型糖尿病患者数の全数集計を実施、性年齢階級別・都道府県別・市町村別の頻度と分布を明らかにする。

(2) 糖尿病治療の状況（平成30年9月～平成31年3月）

検査項目や加算、糖尿病治療薬の処方に関する頻度や分布を集計する。たとえば、認知症患者や透析患者の治療の現状など、性年齢階級、都道府県、併存疾患に応じた治療内容の違い（statics）及び治療の変化の違い（dynamics）について分析する。

(3) コホートの構築（平成31年4月～令和2年3月）

性年齢階級、都道府県、医療保険の種類、糖尿病治療薬の処方状況、アウトカムの指標（全入院・低血糖、医療費、がん、透析など）を統計ソフトで分析可能な状態に加工する。約770万人の大規模コホート、表形式で2億行程度の個人別、医療機関受診別のデータに加工することを想定している。

(4) コホート研究（令和2年4月～令和5年3月）

統計ソフトを用いて時間的空間的な広がりも鑑みてモデル化する。最終的に、糖尿病治療薬の種類と低血糖による入院の関係や糖尿病治療薬の種類と医療費の関係を明らかにする。

成果の発信

糖尿病専門家と密に相談を重ね、糖尿病専門家・非専門家による日常診療や政策に活かせるよう毎年日本糖尿病学会、日本公衆衛生学会等、学会で報告を行うとともに、論文化を速やかにを行い、日本初の全診療情報データから得られた知見を発信していくものとする。

本研究で明らかになること：
糖尿病の治療バリエーション、地域差
日本の糖尿病治療法と予後の関係

研究体制

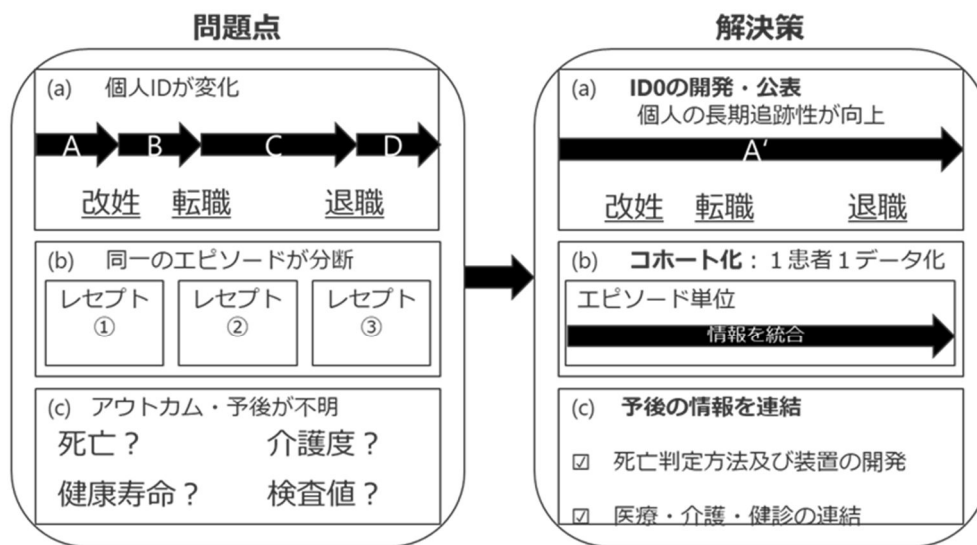
研究代表者は奈良県立医科大学附属病院糖尿病・内分泌内科で糖尿病専門家として勤めている。また、奈良県立医科大学公衆衛生学講座助教として、大規模データの分析に関する研究を行っている。奈良県立医科大学糖尿病・内分泌内科学講座には糖尿病専門家、指導医が複数在籍しており、分析の方法や結果の解釈に関して臨床専門家と密に意見交換を行っている。また、データベースの技術面に関しては公衆衛生学講座でNDBの研究を多数行っており、疫学専門家も複数在籍している。本研究実施を通して糖尿病・内分泌内科学講座と公衆衛生学講座での共同研究体制を構築し、臨床医と疫学専門家が協力して臨床的に重要な多数のプロジェクトを実施する体制が整った。本研究は、独自の工夫によって国内外に先鞭をつける形で構築した医療・介護・健診連結データを利用した研究であり、直ちに応用可能である。NDBは対象者1億人以上の世界最大の医療データベースであり、かつ保険診療の全数調査と規模と網羅性の両面で各国のデータベースと一線を画する。また日本には国保データベース（KDB）や商用データベース（JMDC Claims Database、DeSCデータベース等）もあり、医療・健診・介護を連結して解析できる。臨床・研究の専門家、疫学・公衆衛生学の専門家、ビッグデータ解析の専門家が揃い、既に有機的な連携を行なっている。これらのを兼ね備えたチームは世界的にも例がない。独自の連結ビッグデータを用いることにより諸外国のデータではできない最大級かつ最も緻密な解析が可能であるとともに、これまでの臨床研究では明らかにできなかった糖尿病のリアルワールドを明らかにできる。本研究は臨床研究の新たなモデルケースになるだけでなく、レセプト研究の更なる発展に寄与する方向性を示しうる。

4. 研究成果

医療情報・介護情報・健康診査（健診）情報連結ビッグデータの構築¹⁾²⁾

研究代表者の西岡はこれまで図のように日本のレセプトデータの以下の課題(a)～(c)を解決し、その過程を公表してきた。

- (a) 転職や氏名の変更等のライフイベントによって個人IDが変化する
個人追跡性の高い新たな名寄せ手法、ID0(特許申請：特開 2019-185403)を開発した。日本における 2013 年度の保険使用者は 109,488,704 人、2018 年度の保険使用者は 110,763,932 人と明らかにし、個人を長期に追跡することが可能になった。
- (b) 入院や外来における疾患発生や投薬などエピソード単位の分析が難しい
独自のコホート化技術でレセプト単位でなくエピソード単位の分析を可能にした。
- (c) 死亡を含むアウトカム・予後の情報を得ることが難しい
死亡判定方法及び装置（特許申請：特開 2020-190785）を開発し、2013 年度からの 6 年間で 5,761,947 人の死亡者を把握した。また、医療・介護・健診の連結で、介護度や検査値を得られるようにした。



図：レセプトデータの問題点とその克服
1億人規模の保険診療全数の研究、医療・介護・健診の連結解析が可能に

NDB・DeSC データベースを用いた糖尿病疫学研究

研究代表者は、奈良県立医科大学公衆衛生学講座において疫学、統計学、ビッグデータ解析手法の専門家としての技術を習得してきた。また糖尿病を中心とした臨床経験も重ね、クリニカルクエストの構築とともにレセプト研究を発展させてきた。

まずレセプトビッグデータ解析の日本における標準となりうるレセプトから糖尿病の有無を判定するアルゴリズムを構築³⁾、糖尿病のある人の死亡年齢に関する記述疫学研究を実施した。NDB を用いた集計の結果、糖尿病のある男性では死亡時の平均年齢が 77.4 歳、糖尿病のある女性では死亡時の平均年齢が 82.0 歳であった。また、糖尿病のない男性では死亡時の平均年齢が 79.3 歳、糖尿病のない女性では死亡時の平均年齢が 84.4 歳であった。糖尿病のある人とない人で死亡時の平均年齢の差は男性で 1.9 歳、女性で 2.4 歳であることが明らかになった⁴⁾。また、重症低血糖と急性冠症候群の関連について分析疫学研究を実施⁵⁾した。またレセプトから 1 型糖尿病の有無を判定するアルゴリズムを構築し、若年者では 1 型糖尿病罹患率に季節性がみられる一方で、その他の年齢層には季節性がない可能性を示した⁶⁾。このことは、年齢によって 1 型糖尿病発症への環境因子の寄与が異なっている可能性を示唆しており、1 型糖尿病の病態解明に繋がる可能性がある。さらにインフルエンザウイルス感染症罹患と 1 型糖尿病発症が関連するという仮説を見出し、自己対照ケースシリーズ研究のデザインを用いて、インフルエンザ罹患後 180 日で 1 型糖尿病の発症がその他の期間に比べて増加することを初めて明らかにした⁷⁾。更に、インフルエンザ罹患後に 1 型糖尿病発症が増える現象について、Target Trial Emulation の枠組みを用いた臨床疫学研究を実施した。これらのことから、インフルエンザ罹患後の 1 型糖尿病発生率の変化には年齢による違いがあり、特に若年者でインフルエンザ罹患後に 1 型糖尿病が増えることを示した⁸⁾。この結果から、インフルエンザ感染症の 1 型糖尿病発症への年齢による寄与の違いが、1 型糖尿病発症の年齢による季節性の違いを説明できる可能性がある。本研究成果として、NDB を用いた糖尿病の臨床疫学研究を実施⁹⁾するとともに、レセプト研究実施に必要な基盤を公表することでレセプトデータベースを用いた臨床研究に貢献してきた。これらの業績は高く評価され、関連学会での受賞^{8),10),11)}、招待講演¹²⁾とともに、レセプトビッグデータの新たな技術としての知財の獲得も^{13),14),15)}行ってきた。

全診療報酬情報を用いた糖尿病診療の時空間疫学分析：まとめ

本研究では糖尿病のある人を取りまく現状を把握し、糖尿病のある人に対する医療の向上に役立てることを目的に、NDB や国保データベース (KDB)、JMDC Claims Database、DeSC データベース等を用いて糖尿病のある人に関して詳細に記述した。開発した糖尿病・1型糖尿病をレセプト上で判定するためのロジックは、バリデーションを実施した上で論文化し公表している。これらを用いた臨床疫学研究も複数実施することができた。さらに本研究成果の一部である名寄せ技術及び死亡判定ロジックについては、それぞれ第三者による特許取得防止のために特許出願したが、出願審査請求は行っておらず、いわゆる特許権は発生していない。これらのプログラム等は NDB やその他レセプトデータ等の分析を予定されている研究者に必要なに応じて研究者に提供することで、本研究はレセプトデータの解析基盤技術開発とその普及という観点でも貢献している。引き続きデータベース研究によるリアルワールドエビデンスが継続的に発信され、糖尿病のある人を取りまく現状がより正確に把握されること、これらのデータが糖尿病のある人に対する医療の向上に役立てられることを期待したい。今後の方針として、研究代表者は2022年度から基盤研究(B)「医療・介護・健診連結ビッグデータを用いた内分泌代謝疾患のリアルワールド解析」を開始している。この研究班では本研究で構築した糖尿病領域のレセプトデータベース基盤を深める縦の展開と、レセプトを用いたエビデンス創出までの過程を内分泌代謝疾患全体に広げる横の展開を行い、立体的かつ多角的な発展に繋げる。引き続き正確な疫学データ作成、実際の診断・治療における問題点の解明、疾患予後改善因子の解明、早期診断・適切な治療法の開発、予後の改善へ結びつけていきたい。

<文献>

- 1) 西岡ら、世界最大の医療ビッグデータ NDB(ナショナルデータベース)の活用と今後の展望、日本整形外科学会雑誌 93(11) 959 - 979. (first author, corresponding author)
- 2) Myojin T, Nishioka Y et al. Development of a New Method to Trace Patient Data Using the National Database in Japan. Advanced Biomedical Engineering 11: 203-217, 2022.
- 3) Nishioka Y et al. Appropriate definition of diabetes using an administrative database: a cross-sectional cohort validation study. J Diabetes Investig., 2021, doi:10.1111/jdi.13641. (first author, corresponding author)
- 4) Nishioka Y et al. The age of death in Japanese patients with type 2 and type 1 diabetes: A descriptive epidemiological study. J Diabetes Investig.. 2022 Aug;13(8):1316-1320. doi: 10.1111/jdi.13802. Epub 2022 Apr 19. (first author, corresponding author)
- 5) Nishioka Y et al. Incidence and seasonality of type 1 diabetes: a population-based 3-year cohort study using the National Database in Japan. BMJ Open Diabetes Res Care, 2020, 8.1: e001262. (first author)
- 6) Nishioka Y et al. Absolute risk of acute coronary syndrome after severe hypoglycemia: A population based 2 year cohort study using the National Database in Japan. J Diabetes Investig., 2020, 11.2: 426-434. (first author)
- 7) Nishioka Y et al. Association between influenza and the incidence rate of new onset type 1 diabetes in Japan. J Diabetes Investig., 2021, doi:10.1111/jdi.13540. (first author)
- 8) 西岡ら、1型糖尿病発症に関わる因子 インフルエンザと1型糖尿病発症の Target Trial Emulation、第81回日本公衆衛生学会総会最優秀演題賞
- 9) Kuwata H, Nishioka Y et al. Association between dipeptidyl peptidase-4 inhibitors and increased risk for bullous pemphigoid within 3 months from first use: A 5-year Population-Based Cohort Study Using the Japanese National Database J Diabetes Investig, 2021, doi:10.1111/jdi.13676. (corresponding author)
- 10) 西岡ら、特定健康診査の糖尿病薬処方に関する質問項目のバリデーション研究、第79回日本公衆衛生学会総会優秀口演賞
- 11) 第7回日本糖尿病学会若手研究助成金(2021-2022)「レセプトビッグデータを用いた1型糖尿病発症に関連する環境因子の同定」
- 12) 第64回日本糖尿病学会年次学術集会 会長企画『データベース医学』が切り拓く新しい糖尿病学：大規模レセプトデータベースを用いた臨床疫学研究から見えること
- 13) 特開 2020-190785 レセプト情報データベースにおける患者の死亡判定方法及び装置
- 14) 特開 2019-185403 レセプト情報・特定健診等情報データベースにおける患者突合方法及び装置
- 15) 特願 2023-018280 患者突合方法、装置、及びプログラム

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計36件（うち査読付論文 36件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 18件）

1. 著者名 Nishioka Yuichi, Takeshita Saki, Kubo Shinichiro, Myojin Tomoya, Noda Tatsuya, Okada Sadanori, Ishii Hitoshi, Imamura Tomoaki, Takahashi Yutaka	4. 巻 13
2. 論文標題 Appropriate definition of diabetes using an administrative database: A cross sectional cohort validation study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Diabetes Investigation	6. 最初と最後の頁 249 ~ 255
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jdi.13641	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kamitani Fumika, Nishioka Yuichi, Noda Tatsuya, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Higashino Tsuneyuki, Okada Sadanori, Akai Yasuhiro, Ishii Hitoshi, Takahashi Yutaka, Imamura Tomoaki	4. 巻 11
2. 論文標題 Incidence of lower limb amputation in people with and without diabetes: a nationwide 5-year cohort study in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e048436 ~ e048436
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2020-048436	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kuwata Hirohito, Nishioka Yuichi, Noda Tatsuya, Kubo Shinichiro, Myojin Tomoya, Higashino Tsuneyuki, Takahashi Yutaka, Ishii Hitoshi, Imamura Tomoaki	4. 巻 13
2. 論文標題 Association between dipeptidyl peptidase 4 inhibitors and increased risk for bullous pemphigoid within 3?months from first use: A 5 year population based cohort study using the Japanese National Database	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Diabetes Investigation	6. 最初と最後の頁 460 ~ 467
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jdi.13676	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakanishi Yasuhiro, Tsugihashi Yukio, Akahane Manabu, Noda Tatsuya, Nishioka Yuichi, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Higashino Tsuneyuki, Okuda Naoko, Robine Jean-Marie, Imamura Tomoaki	4. 巻 4
2. 論文標題 Comparison of Japanese Centenarians ' and Noncentenarians ' Medical Expenditures in the Last Year of Life	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JAMA Network Open	6. 最初と最後の頁 e2131884
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1001/jamanetworkopen.2021.31884	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kubo Shinichiro, Noda Tatsuya, Myojin Tomoya, Nishioka Yuichi, Kanno Saho, Higashino Tsuneyuki, Nishimoto Masatoshi, Eriguchi Masahiro, Samejima Kenichi, Tsuruya Kazuhiko, Imamura Tomoaki	4. 巻 26
2. 論文標題 Tracing all patients who received insured dialysis treatment in Japan and the present situation of their number of deaths	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Clinical and Experimental Nephrology	6. 最初と最後の頁 360 ~ 367
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10157-021-02163-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato Sakura, Kainuma Keigo, Noda Tatsuya, Ebisawa Motohiro, Futamura Masaki, Imamura Tomoaki, Miyagawa Akihiro, Nakajima Saeko, Ogawa Yasushi, Inomata Takenori, Kan-o Keiko, Kurashima Yosuke, Masaki Katsunori, Myojin Tomoya, Nishioka Yuichi, Sakashita Masafumi, Tamari Mayumi, Morita Hideaki, Adachi Takeya	4. 巻 in press
2. 論文標題 Evaluation of adrenaline auto-injector prescription profiles: A population-based, retrospective cohort study within the National Insurance Claims Database of Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Allergology International	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.alit.2022.02.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kanaoka Koshiro, Iwanaga Yoshitaka, Nakai Michikazu, Nishioka Yuichi, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Okada Katsuki, Soeda Tsunenari, Noda Tatsuya, Sakata Yasushi, Miyamoto Yoshihiro, Saito Yoshihiko, Imamura Tomoaki	4. 巻 in press
2. 論文標題 Outpatient cardiac rehabilitation dose after acute coronary syndrome in a nationwide cohort	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Heart	6. 最初と最後の頁 2021-320434
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/heartjnl-2021-320434	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koshiro Kanaoka, Taku Nishida, Yuichi Nishioka, Tomoya Myojin, Shinichiro Kubo, Tsunenari Soeda, Katsuki Okada, Tatsuya Noda, Yoshitaka Iwanaga, Yoshihiro Miyamoto, Yasushi Sakata, Tomoaki Imamura, Yoshihiko Saito	4. 巻 in press
2. 論文標題 The Impact of Hospital Case Volume on the Outcomes after Catheter Ablation for Atrial Fibrillation according to the Ablation Technology	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Cardiovascular Electrophysiology	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuichi Nishioka, Shinichiro Kubo, Sadanori Okada, Tomoya Myojin, Tsuneyuki Higashino, Kenjiro Imai, Takehiro Sugiyama, Tatsuya Noda, Hitoshi Ishii, Yutaka Takahashi, Tomoaki Imamura	4. 巻 in press
2. 論文標題 The Age of Death in Japanese patients with type 2 and type 1 diabetes: A descriptive epidemiological study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Diabetes Investigation	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/JDI.13802	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishioka Yuichi, Noda Tatsuya, Okada Sadanori, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Higashino Tsuneyuki, Nakajima Hiroki, Sugiyama Takehiro, Ishii Hitoshi, Imamura Tomoaki	4. 巻 in press
2. 論文標題 Association between influenza and the incidence rate of new onset type 1 diabetes in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Diabetes Investigation	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jdi.13540	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kanaoka Koshiro, Soeda Tsunenari, Terasaki Satoshi, Nishioka Yuichi, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Okada Katsuki, Noda Tatsuya, Watanabe Makoto, Kawakami Rika, Sakata Yasushi, Imamura Tomoaki, Saito Yoshihiko	4. 巻 3
2. 論文標題 Current Status and Effect of Outpatient Cardiac Rehabilitation After Percutaneous Coronary Intervention in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Circulation Reports	6. 最初と最後の頁 122 ~ 130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1253/circrep.CR-20-0143	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki Seitaro, Noda Tatsuya, Nishioka Yuichi, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Imamura Tomoaki, Kamijo Hideyuki, Sugihara Naoki	4. 巻 62
2. 論文標題 Evaluation of Public Health Expenditure by Number of Teeth among Outpatients with Diabetes Mellitus	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Bulletin of Tokyo Dental College	6. 最初と最後の頁 55 ~ 60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2209/tdcpublication.2020-0035	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hirai N , Nishioka Y , Sekine T , Nishihara Y , Okuda N , Nishimura T , Fujikura H , Imakita N , Fukumori T , Ogawa T , Hishiya N , Suzuki Y , Nakano R , Yano H , Sato M , Maeda K , Imamura T , Kasahara K	4. 巻 in press
2. 論文標題 Factors associated with viral clearance periods from patients with COVID-19: A retrospective observational cohort study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsugihashi Yukio, Akahane Manabu, Nakanishi Yasuhiro, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Nishioka Yuichi, Noda Tatsuya, Hayashi Shuichiro, Furihata Shiori, Higashino Tsuneyuki, Imamura Tomoaki	4. 巻 21
2. 論文標題 Long term prognosis of enteral feeding and parenteral nutrition in a population aged 75?years and older: a population based cohort study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMC Geriatrics	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12877-020-02003-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshihara Shingo, Yamana Hayato, Akahane Manabu, Kishimoto Miwa, Nishioka Yuichi, Noda Tatsuya, Matsui Hiroki, Fushimi Kiyohide, Yasunaga Hideo, Kasahara Kei, Imamura Tomoaki	4. 巻 in press
2. 論文標題 Association between prophylactic antibiotic use for transarterial chemoembolization and occurrence of liver abscess: a retrospective cohort study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clinical Microbiology and Infection	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cmi.2021.01.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 西岡 祐一 , 野田 龍也 , 今村 知明	4. 巻 67(15)
2. 論文標題 奈良県における後期高齢者医療費と保険料水準の理論推計	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 厚生学の指標	6. 最初と最後の頁 26-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishii Hitoshi, Takamura Hiroshi, Nishioka Yuichi, Langer Jakob, Watanabe Michihisa, Kim Hyunchung Ray, Crawford Bruce	4. 巻 11
2. 論文標題 Quality of Life and Utility Values for Cost-Effectiveness Modeling in Japanese Patients with Type2 Diabetes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Diabetes Therapy	6. 最初と最後の頁 2931 ~ 2943
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s13300-020-00938-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishioka Yuichi, Noda Tatsuya, Okada Sadanori, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Higashino Tsuneyuki, Ishii Hitoshi, Imamura Tomoaki	4. 巻 8
2. 論文標題 Incidence and seasonality of type 1 diabetes: a population-based 3-year cohort study using the National Database in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMJ Open Diabetes Research & Care	6. 最初と最後の頁 e001262 ~ e001262
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjdr-2020-001262	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki Seitaro, Noda Tatsuya, Nishioka Yuichi, Imamura Tomoaki, Kamijo Hideyuki, Sugihara Naoki	4. 巻 70
2. 論文標題 Evaluation of tooth loss among patients with diabetes mellitus using the National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Dental Journal	6. 最初と最後の頁 308 ~ 315
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/idj.12561	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishioka Yuichi, Okada Sadanori, Noda Tatsuya, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Ohtera Shosuke, Kato Genta, Kuroda Tomohiro, Ishii Hitoshi, Imamura Tomoaki	4. 巻 11
2. 論文標題 Absolute risk of acute coronary syndrome after severe hypoglycemia: A population based 2 year cohort study using the National Database in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Diabetes Investigation	6. 最初と最後の頁 426 ~ 434
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jdi.13153	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 久保慎一郎, 野田龍也, 西岡祐一, 明神大也, 中西康裕, 降旗志おり, 東野恒之, 今村知明	4. 巻 40(6)
2. 論文標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を用いた死亡アウトカムの追跡	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 医療情報学	6. 最初と最後の頁 319-335
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 菅野沙帆, 久保慎一郎, 西岡祐一, 野田龍也, 今村知明	4. 巻 40
2. 論文標題 レセプト電算用マスターとMEDIS標準病名マスターにおける指定難病病名の収載状況について	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 医療情報学連合大会論文集	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保慎一郎, 野田龍也, 西岡祐一, 明神大也, 東野恒之, 今村知明	4. 巻 40
2. 論文標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)における患者突合の精度向上に関する手法開発	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 医療情報学連合大会論文集	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuichi Nishioka, Sadanori Okada, Tatsuya Noda, Tomoya Myojin, Shinichiro Kubo, Shosuke Ohtera, Genta Kato, Tomohiro Kuroda, Hitoshi Ishii, Tomoaki Imamura	4. 巻 11(2)
2. 論文標題 Absolute risk of acute coronary syndrome after severe hypoglycemia: A population based 2 year cohort study using the National Database in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Diabetes Investigation	6. 最初と最後の頁 426-434
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jdi.13153	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki, Seitaro; Noda, Tatsuya; Nishioka, Yuichi; Imamura, Tomoaki; Kamijo, Hideyuki; Sugihara, Naoki	4. 巻 未定
2. 論文標題 Evaluation of tooth loss among patients with diabetes mellitus using the National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International dental journal	6. 最初と最後の頁 未定
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西岡 祐一, 野田 龍也, 今村 知明	4. 巻 93(11)
2. 論文標題 世界最大の医療ビッグデータNDB(ナショナルデータベース)の活用と今後の展望	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本整形外科学会雑誌	6. 最初と最後の頁 959-979
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shuichiro Hayashi, Tatsuya Noda, Shinichiro Kubo, Tomoya Myojin, Yuichi Nishioka, Tsuneyuki Higashino, Manabu Akahane, Tomoaki Imamura	4. 巻 23
2. 論文標題 Data regarding fracture incidence according to fracture site, month, and age group obtained from the large public health insurance claim database in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Data in brief	6. 最初と最後の頁 103780
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 久保 慎一郎, 西岡 祐一, 野田 龍也, 今村 知明	4. 巻 67(2)
2. 論文標題 墓数の推計と今後の予測モデルの確立に関する検討	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 厚生指標	6. 最初と最後の頁 32-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 明神大也, 野田龍也, 久保慎一郎, 西岡祐一, 東野恒之, 今村知明	4. 巻 23
2. 論文標題 レセプト情報・特定健NDB利用促進に向けた取り組み 1患者1データ化・診等情報データベース(NDB)利用促進に向けた取り組み - 1 入院 1 データ化 -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 第23回医療情報学会春季学術大会論文集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保慎一郎, 野田龍也, 西岡祐一, 明神大也, 降旗志おり, 東野恒之, 瀬楽丈夫, 今村知明.	4. 巻 23
2. 論文標題 NDBに対する死亡決定ロジックの手法開発と検証	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 第23回医療情報学会春季学術大会論文集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中島拓紀, 岡田定規, 西岡祐一, 小泉実幸, 中上純子, 毛利貴子, 増谷剛, 赤井靖宏, 石井均	4. 巻 62(6)
2. 論文標題 インスリン抗体陽性2型糖尿病患者のステロイド投与による血糖改善を持続血糖モニターで評価しえた1例	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 糖尿病	6. 最初と最後の頁 366-372
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 明神大也, 次橋行男, 久保慎一郎, 西岡祐一, 中西康裕, 降旗志おり, 東野恒之, 野田龍也, 今村知明	4. 巻 39
2. 論文標題 国保データベースを用いた医療レセプトと介護レセプト連結における名寄せの課題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医療情報学連合大会論文集 39回	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保 慎一郎, 野田 龍也, 明神 大也, 西岡 祐一, 中西 康裕, 降旗 志おり, 東野 恒之, 今村 知明	4. 巻 39
2. 論文標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を用いた死亡アウトカムの追跡	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医療情報学連合大会論文集 39回	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 明神大也, 野田龍也, 久保慎一郎, 西岡祐一, 東野恒之, 今村知明	4. 巻 38
2. 論文標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)利用促進に向けた取り組み 1患者1データ化	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 医療情報学連合大会プログラム・抄録集	6. 最初と最後の頁 378-865
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保慎一郎, 野田龍也, 西岡祐一, 明神大也, 降旗志おり, 東野恒之, 瀬楽丈夫, 今村知明	4. 巻 38
2. 論文標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)に対する死亡決定ロジックの手法開発 R言語による決定木分析を用いて	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 医療情報学連合大会プログラム・抄録集	6. 最初と最後の頁 279-443
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hayashi S, Noda T, Kubo S, Myojin T, Nishioka Y, Higashino T, Imamura T	4. 巻 120
2. 論文標題 Variation in fracture risk by season and weather: A comprehensive analysis across age and fracture site using a National Database of Health Insurance Claims in Japan.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Bone	6. 最初と最後の頁 512-519
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bone.2018.12.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計156件（うち招待講演 3件 / うち国際学会 1件）

1. 発表者名 明神大也、西岡祐一、野田龍也、大井川仁美、今井健、今村知明
2. 発表標題 NDBと死亡情報の連結における技術的課題の検討
3. 学会等名 第42回医療情報学連合大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 菅野沙帆、野田龍也、町田宗仁、西岡祐一、久保慎一郎、今村知明
2. 発表標題 2019年と2020年における日本の外来受診患者数の比較
3. 学会等名 第42回医療情報学連合大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 竹下沙希、西岡祐一、森田えみり、明神大也、久保慎一郎、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・健診情報を活用したリアルワールドエビデンス創出に資する医学統計手法の開発 低用量卵胞ホルモン・黄体ホルモン配合製剤と血栓症に関するTarget Trial Emulation
3. 学会等名 第42回医療情報学連合大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山口佳小里、中西康裕、西岡祐一、次橋幸男、野田龍也、北村哲郎、城戸顕、今村知明、赤羽学
2. 発表標題 大規模レセプトデータを用いた後期高齢者を対象としたリハビリテーション医療の需要に関する圏域別将来推計
3. 学会等名 第59回日本リハビリテーション医学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西岡祐一、森田えみり、竹下沙希、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 1型糖尿病発症に関わる因子 インフルエンザと1型糖尿病発症のTarget Trial Emulation
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 安福祐一、西岡祐一、宇田和晃、康永秀生、今村知明
2. 発表標題 拡張型心筋症患者に対する早期心臓リハビリテーションが患者の短期予後に与える影響
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中西康裕、西岡祐一、次橋幸男、柿沼倫弘、野田龍也、今村知明、赤羽学
2. 発表標題 大規模レセプトデータを用いた在宅医療需要の将来推計手法の確立
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 森田えみり、西岡祐一、竹下沙希、明神大也、久保慎一郎、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 レセプトビッグデータ解析 家族歴が自己免疫性甲状腺疾患発症に与えるリスクの定量化
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 明神大也、西岡祐一、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 NDBと死亡情報の連結にあたっての課題の検討
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 新居田泰大、西岡祐一、森田えみり、明神大也、久保慎一郎、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 レセプトデータを用いたパセドウ病と甲状腺眼症の疫学
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小川裕貴、野田龍也、西岡祐一、小川俊夫、今村知明
2. 発表標題 JMDCデータベースを用いた糖尿病と直腸癌手術後排尿機能障害の関連の検討
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 玉本咲菜、西岡祐一、竹下沙希、森田えみり、中澤有佐、明神大也、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 特定保健指導の糖尿病発症抑制効果検証のための観察研究 Target Trial Emulation
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 菅野沙帆、野田龍也、久保慎一郎、西岡祐一、明神大也、今村知明
2. 発表標題 レセプトデータを用いた透析患者における骨折発症後の標準化死亡比の算出
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 次橋幸男、西岡祐一、中西康裕、柿沼倫弘、野田龍也、赤羽学、今村知明
2. 発表標題 介護医療院創設前後における医療療養病床・医療区分1を退院した患者の療養場所の変化
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岡本左和子、西岡祐一、今村知明
2. 発表標題 退院支援における医療介護連携促進への対策ツールの開発 ヒアリング調査報告
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 辻本雄大、明神大也、西岡祐一、今村知明
2. 発表標題 後期高齢者における口腔健診と死亡の関連
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 野田龍也、明神大也、西岡祐一、今村知明
2. 発表標題 日本の医療データベースから算出された季節性インフルエンザの致死率と重症化率
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 竹下沙希、西岡祐一、次橋幸男、中西康裕、柿沼倫弘、久保慎一郎、明神大也、赤羽学、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 KDBを用いた医療区分1入院患者の介護・医療介入の現状と予後の解析
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 今村知明、西岡祐一、柿沼倫弘、赤羽学、野田龍也
2. 発表標題 第8次医療計画策定に向けた循環器疾患の医療政策指標の検討
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中澤有佐、西岡祐一、竹下沙希、森田えみり、玉本咲楽、明神大也、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 特定健康診査の次年度受診割合と健診判定値の関連
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 柿沼倫弘、中西康裕、西岡祐一、野田龍也、今村知明、赤羽学
2. 発表標題 大規模レセプトデータを用いた脳梗塞治療に関する地域医療提供体制の検討
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 次橋幸男、西岡祐一、中西康裕、赤羽学、野田龍也、東野恒之、今村知明
2. 発表標題 在宅訪問診療を受けた実患者数とその提供量の推移 レセプト情報・特定検診等情報データベース(NDB)を用いた全年齢層における全国データの分析
3. 学会等名 第4回日本在宅医療連合学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 竹下沙希、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報における病名・病名開始日を用いた名寄せロジック
3. 学会等名 第26回日本医療情報学会春季学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 菅野沙帆、野田龍也、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、今村知明
2. 発表標題 NDBを用いたがんの手術部位別SMRの算出の検討
3. 学会等名 第26回日本医療情報学会春季学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中西康裕、次橋幸男、早坂章、西岡祐一、今村知明、赤羽学
2. 発表標題 アドバンス・ケア・プランニングの実施経験に関するWEB質問紙調査
3. 学会等名 第64回日本老年医学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 紙谷史夏、西岡祐一、小泉実幸、中島拓紀、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 抗甲状腺薬による無顆粒球症の臨床的特徴 real worldにおけるコホート研究
3. 学会等名 第95回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小泉実幸、西岡祐一、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、桑田博仁、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた妊娠後骨粗鬆症の実態の解明
3. 学会等名 第95回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中島拓紀、西岡祐一、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、毛利貴子、桑田博仁、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた特発性アルドステロン症における骨折リスクの解明
3. 学会等名 第95回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 竹下沙希、松本隆作、西岡祐一、山本拓也、山田正三、高橋裕
2. 発表標題 トランスクリプトーム解析によって同定されたGHoma成因となりうる新たなパスウェイ
3. 学会等名 第95回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 新居田泰大、西岡祐一、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、桑田博仁、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた甲状腺眼症の疫学解析
3. 学会等名 第95回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 森田えみり、西岡祐一、竹下沙希、明神大也、久保慎一郎、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、桑田博仁、樽松由佳子、岡田定規、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた自己免疫性甲状腺疾患の遺伝因子の解析
3. 学会等名 第95回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西岡祐一、森田えみり、竹下沙希、明神大也、久保慎一郎、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、桑田博仁、樽松由佳子、岡田定規、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 2型糖尿病発症リスクにおける環境因子と遺伝因子の定量化の試み レセプトビッグデータ解析
3. 学会等名 第95回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 津川峻輔、桑田博仁、新居田泰大、玉城由子、西岡祐一、小泉実幸、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、樽松由佳子、岡田定規、高橋裕
2. 発表標題 免疫チェックポイント阻害薬併用療法に関連した鑑別困難な甲状腺中毒症を呈した一例
3. 学会等名 第95回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西岡祐一、森田えみり、竹下沙希、明神大也、久保慎一郎、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、毛利貴子、中島拓紀、樽松由佳子、桑田博仁、岡田定規、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 1型糖尿病発症リスクにおける環境因子と遺伝因子の定量化の試み レセプトビッグデータ解析
3. 学会等名 第65回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 永島慧法、中島拓紀、新居田泰大、玉城由子、小泉実幸、西岡祐一、紙谷史夏、毛利貴子、桑田博仁、樽松由佳子、岡田定規、高橋裕
2. 発表標題 環状2番染色体に合併した若年発症糖尿病の一例
3. 学会等名 第65回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 森田えみり、西岡祐一、竹下沙希、明神大也、久保慎一郎、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、桑田博仁、樽松由佳子、岡田定規、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いたSGLT2阻害薬による糖尿病網膜症進展防止効果についての解析
3. 学会等名 第65回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 紙谷史夏、西岡祐一、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、中島拓紀、毛利貴子、桑田博仁、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 糖尿病患者ではSGLT2阻害薬により下肢切断が増えるのか レセプトビッグデータを用いた疫学研究
3. 学会等名 第65回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岡田定規、西岡祐一、金岡幸嗣朗、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、桑田博仁、樽松由佳子、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、齋藤能彦、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 健診・レセプト情報連結データベースの縦断的解析による疾病予測 eGFR slopeによる透析ハイリスク患者の抽出
3. 学会等名 第65回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 竹下沙希、西岡祐一、明神大也、久保慎一郎、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、桑田博仁、樽松由佳子、岡田定規、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータのクラスター解析によって明らかになった高度肥満の不均一性
3. 学会等名 第65回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中島拓紀、西岡祐一、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、毛利貴子、桑田博仁、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた食習慣による2型糖尿病発症リスクの解明
3. 学会等名 第65回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小泉実幸、西岡祐一、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、桑田博仁、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた妊娠後骨粗鬆症への糖尿病の影響の解明
3. 学会等名 第65回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 紙谷史夏、西岡祐一、森田えみり、竹下沙希、小泉実幸、中島拓紀、久保慎一郎、明神大也、樽松由佳子、岡田定規、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータ解析により明らかになった免疫チェックポイント阻害薬による1型糖尿病の特徴と予後
3. 学会等名 第96回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 西岡祐一、森田えみり、竹下沙希、池茉美香、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、毛利貴子、中島拓紀、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータによる内分泌代謝疾患の病態解明
3. 学会等名 第96回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 中島拓紀、西岡祐一、森田えみり、小泉実幸、紙谷史夏、樽松由佳子、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた食習慣による骨粗鬆症リスクへの影響の解析
3. 学会等名 第96回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小泉実幸、西岡祐一、紙谷史夏、中島拓紀、森田えみり、久保慎一郎、明神大也、樽松由佳子、岡田定規、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた妊娠後骨粗鬆症の実態の解明
3. 学会等名 第96回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 紙谷史夏、西岡祐一、森田えみり、竹下沙希、小泉実幸、中島拓紀、久保慎一郎、明神大也、樽松由佳子、岡田定規、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータ解析により明らかになった免疫チェックポイント阻害薬による1型糖尿病の特徴と予後
3. 学会等名 第66回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 森田えみり、西岡祐一、竹下沙希、池菜美香、玉城由子、紙谷史夏、毛利貴子、中島拓紀、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 SGLT2阻害薬は糖尿病網膜症/黄斑浮腫進展を防止する：Target Trial Emulationを用いたレセプトビッグデータ解析
3. 学会等名 第66回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 明神大也、西岡祐一、池菜美香、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、毛利貴子、中島拓紀、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 健康診断におけるHbA1c高値の受診者の医療機関受診までの日数に関する分析
3. 学会等名 第66回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 西岡祐一、森田えみり、竹下沙希、池茉美香、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、毛利貴子、中島拓紀、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた1型糖尿病発症に関連する環境因子の同定
3. 学会等名 第66回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 中島拓紀、西岡祐一、森田えみり、小泉実幸、紙谷史夏、樽松由佳子、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータによる発症前HbA1c値ごとの食習慣による2型糖尿病発症リスクへの影響の解析
3. 学会等名 第66回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 岡田定規、西岡祐一、金岡幸嗣朗、小泉実幸、紙谷史夏、中島拓紀、樽松由佳子、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、斎藤能彦、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 eGFR変動係数による透析ハイリスク患者の予測：健診・レセプト情報連結データベースの縦断的解析
3. 学会等名 第66回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 西岡祐一、森田えみり、竹下沙希、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、栗田博仁、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 1型糖尿病発症リスクにおける環境因子と遺伝因子の定量化の試み：レセプトビッグデータ解析
3. 学会等名 第65回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 竹下沙希、西岡祐一、森田えみり、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、柴田博仁、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータのクラスター解析によって明らかになった高度肥満の不均一性
3. 学会等名 第65回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岡田定規、西岡祐一、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、柴田博仁、樽松由佳子、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 健診・レセプト情報連結データベースの縦断的解析による疾病予測：eGFR slopeによる透析ハイリスク患者の抽出
3. 学会等名 第65回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 森田えみり、西岡祐一、竹下沙希、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、柴田博仁、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いたSGLT2阻害薬による糖尿病網膜症進展防止効果についての解析
3. 学会等名 第65回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 紙谷史夏、西岡祐一、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、中島拓紀、毛利貴子、柴田博仁、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 糖尿病患者ではSGLT2阻害薬により下肢切断が増えるのか：レセプトビッグデータを用いた疫学研究
3. 学会等名 第65回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中島拓紀、西岡祐一、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、毛利貴子、柴田博仁、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた食習慣による2型糖尿病発症リスクの解明
3. 学会等名 第65回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小泉実幸、西岡祐一、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、柴田博仁、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた妊娠後骨粗鬆症への糖尿病の影響の解明
3. 学会等名 第65回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中島拓紀、西岡祐一、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、毛利貴子、柴田博仁、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた特発性アルドステロン症における骨折リスクの解明
3. 学会等名 第95回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小泉実幸、西岡祐一、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、柴田博仁、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた妊娠後骨粗鬆症の実態の解明
3. 学会等名 第95回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 紙谷史夏、西岡祐一、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、中島拓紀、毛利貴子、栗田博仁、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 抗甲状腺薬による無顆粒球症の臨床的特徴：real worldにおけるコホート研究
3. 学会等名 第95回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 竹下沙希、松本隆作、西岡祐一、山本拓也、山田正三、高橋裕
2. 発表標題 トランスクリプトーム解析によって同定されたGHoma成因となりうる新たなパスウェイ
3. 学会等名 第95回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西岡祐一、森田えみり、竹下沙希、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、栗田博仁、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 2型糖尿病発症リスクにおける環境因子と遺伝因子の定量化の試み：レセプトビッグデータ解析
3. 学会等名 第95回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 森田えみり、西岡祐一、竹下沙希、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、栗田博仁、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた自己免疫性甲状腺疾患の遺伝因子の解析
3. 学会等名 第95回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 新居田泰大、西岡祐一、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、栗田博仁、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた甲状腺眼症の疫学解析
3. 学会等名 第95回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西岡祐一、竹下沙希、明神大也、久保慎一郎、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 ベンゾジアゼピン系薬の処方有無と死亡率の関連：高次元傾向スコアを用いた観察研究
3. 学会等名 第80回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中西 康裕、松本 伸哉、柿沼 倫弘、西岡祐一、次橋 幸男、今村 知明、赤羽 学
2. 発表標題 緊急事態宣言下における医療機関受診に関する意識調査：WEB質問紙 調査による横断研究
3. 学会等名 第80回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 森田雅士、西岡祐一、岡本左和子、小野孝二、今村知明
2. 発表標題 タスクシフトを見据えた診療放射線技師の需給推計
3. 学会等名 第80回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岡本左和子, 康原夏子, 西岡祐一, 吉原真吾, 今村知明
2. 発表標題 リスク情報に伴う妊婦のインフルエンザ予防接種意向の変化とワクチン 忌避
3. 学会等名 第80回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 竹下沙希, 西岡祐一, 明神大也, 久保慎一郎, 野田龍也, 今村知明
2. 発表標題 非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs) による透析導入リスクについて
3. 学会等名 第80回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 菅野 沙帆, 久保 慎一郎, 西岡 祐一, 野田 龍也, 今村 知明
2. 発表標題 透析患者における骨折発症の標準化罹患比の算出: KDBを用いた検討
3. 学会等名 第80回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 新居田 泰大, 西岡 祐一, 明神 大也, 久保 慎一郎, 次橋 幸男, 野田 龍也, 今村知明
2. 発表標題 医療・介護連結解析からわかる高齢2型糖尿病患者治療の実態と課題
3. 学会等名 第80回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 次橋幸男, 赤羽 学, 中西康裕, 明神大也, 久保慎一郎, 西岡祐一, 野田龍也, 今村知明
2. 発表標題 医療・介護保険レセプトデータを用いた要介護状態の契機となった入院 主病名及び手術名の分析
3. 学会等名 第80回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 今村知明, 西岡祐一, 野田龍也
2. 発表標題 奈良県のK D B 7年間データを用いた時系列分析と医療内容の変化
3. 学会等名 第80回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 菅野 沙帆, 野田 龍也, 西岡 祐一, 久保 慎一郎, 明神 大也, 今村 知明
2. 発表標題 NDBを用いた癌の術式別SMRの算出の検討
3. 学会等名 第41回医療情報学連合大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 竹下 沙希, 西岡 祐一, 久保 慎一郎, 明神 大也, 野田 龍也, 今村 知明
2. 発表標題 レセプト情報における病名・病名開始日を用いた名寄せロジックの開発
3. 学会等名 第41回医療情報学連合大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 福島 英賢, 浅井 英樹, 西尾 健治, 笠原 敬, 室 繁郎, 園部 奨太, 西岡 祐一, 今村 知明
2. 発表標題 【禍難を乗り越えて】メディカルコントロールの標準化とコロナ禍におけるメディカルコントロール 新型コロナウイルス感染拡大期の救急搬送における疫学スクリーニングの効果
3. 学会等名 日本救急医学会雑誌 2021年11月 (一社)日本救急医学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 竹下 沙希, 西岡 祐一, 久保 慎一郎, 明神 大也, 野田 龍也, 今村 知明
2. 発表標題 レセプト情報における病名・病名開始日を用いた 名寄せロジック
3. 学会等名 第26回日本医療情報学会春季学術大会(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 貝沼 圭吾, 野田 龍也, 西岡 祐一, 久保 慎一郎, 二村 昌樹, 森田 英明, 佐藤 さくら, 長尾 みづほ, 松本 健治, 海老澤 元宏, 藤澤 隆夫, 今村 知明, 玉利 真由美
2. 発表標題 『食物アレルギー診療ガイドライン』改訂に向けて レセプト情報・特定検診等情報データベース(NDB)を用いたアレルギー疫学研究 2017年度のアドレナリン自己注射剤(エピペン)処方状況
3. 学会等名 食物アレルギー研究会会誌 2021年9月 食物アレルギー研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 紙谷 史夏, 池 茉美香, 新居田 泰大, 玉城 由子, 西岡 祐一, 小泉 実幸, 中島 拓紀, 毛利 貴子, 桑田 博仁, 樽松 由佳子, 岡田 定規, 高橋 裕
2. 発表標題 好酸球性胃腸炎を合併した自己免疫性多内分泌腺症候群-2の一例
3. 学会等名 日本内分泌学会雑誌 97(2) 552-552 2021年10月
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中島 拓紀, 新居田 泰大, 池 茉美香, 西岡 祐一, 紙谷 史夏, 毛利 貴子, 桑田 博仁, 岡田 定規, 樽松 由佳子, 高橋 裕
2. 発表標題 内科的治療に苦慮している局在不明インスリノーマの一例
3. 学会等名 日本内分泌学会雑誌 97(1) 327-327 2021年4月
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西岡 祐一, 岡田 定規, 明神 大也, 久保 慎一郎, 竹下 沙希, 菅野 沙帆, 中西 康裕, 次橋 幸男, 降旗 志おり, 東野 恒之, 金岡 幸嗣朗, 池 美香茉, 新居田 泰大, 玉城 由子, 小泉 実幸, 紙谷 史夏, 中島 拓紀, 毛利 貴子, 栗田 博仁, 樽松 由佳子, 赤井 靖宏, 齋藤 能彦, 石井 均, 野田 龍也, 高橋 裕, 今村 知明
2. 発表標題 『データベース医学』が切り拓く新しい糖尿病学：大規模レセプトデータベースを用いた臨床疫学研究から見えること
3. 学会等名 第64回日本糖尿病学会年次学術集会 会長企画 研究者のサークルを作ろう 「データサイエンスが拓く次世代の糖尿病の臨床研究・疫学研究」(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西岡 祐一, 野田 龍也, 久保 慎一郎, 明神 大也, 玉城 由子, 中島 拓紀, 毛利 貴子, 栗田 博仁, 樽松 由佳子, 岡田 定規, 金岡 幸嗣朗, 齋藤 能彦, 石井 均, 今村 知明, 高橋 裕
2. 発表標題 健康診断でHbA1c高値指摘後の医療機関未受診は早期死亡率上昇と関連する：レセプトビッグデータを用いた観察研究
3. 学会等名 第64回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 新居田 泰大, 西岡 祐一, 中島 拓紀, 毛利 貴子, 栗田 博仁, 岡田 定規, 樽松 由佳子, 久保 慎一郎, 明神 大也, 野田 龍也, 金岡 幸嗣朗, 齋藤 能彦, 石井 均, 今村 知明, 高橋 裕
2. 発表標題 医療保険・介護保険連結ビッグデータ解析によって浮き彫りになる高齢患者における2型糖尿病治療の現状と課題
3. 学会等名 第64回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西岡祐一、野田龍也、久保慎一郎、明神大也、中島拓紀、毛利貴子、柴田博仁、岡田定規、樽松由佳子、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた糖尿病診断アルゴリズムの構築
3. 学会等名 第94回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 新居田 泰大、西岡 祐一、次橋 幸男、久保 慎一郎、明神 大也、野田 龍也、中島 拓紀、毛利 貴子、柴田 博仁、岡田 定規、樽松 由佳子、今村 知明、高橋 裕
2. 発表標題 医療・介護連結ビッグデータを用いたインスリン使用と健康寿命の関連の解析
3. 学会等名 第94回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中島 拓紀、新居田 泰大、池芙 美香、西岡 祐一、紙谷 史夏、毛利 貴子、柴田 博仁、岡田 定規、樽松 由佳子、高橋 裕
2. 発表標題 内科的治療に苦慮している局在不明インスリンノーマの一例
3. 学会等名 第94回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 貝沼 圭吾、野田 龍也、西岡 祐一、久保 慎一郎、二村 昌樹、森田 英明、佐藤 さくら、長尾 みづほ、松本 健治、海老澤 元宏、藤澤 隆夫、今村 知明、玉利 真由美
2. 発表標題 わが国のアドレナリン自己注射剤(エピペン)処方状況
3. 学会等名 第21回食物アレルギー研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 紙谷 史夏, 新居田 泰大, 池 茉美香, 西岡 祐一, 中島 拓紀, 桑田 博仁, 岡田 定規, 毛利 貴子, 樽松 由佳子, 石井 均, 高橋 裕
2. 発表標題 胃切除後後期ガンピングによる意識消失に対して少量ジアゾキシドが有効であった1例
3. 学会等名 第57回日本糖尿病学会近畿地方会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 谷口 俊文, 佐藤 大介, 西岡 祐一, 野田 龍也
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を利用したHIV感染症における医療経済的分析
3. 学会等名 第34回日本エイズ学会学術集会・総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 赤井 靖宏, 西岡 祐一, 久保 慎一郎, 明神 大也, 東野 恒之, 野田 龍也, 今村 知明, 鶴屋 和彦
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を用いた糖尿病透析患者の特性解析
3. 学会等名 第65回日本透析医学会学術集会・総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西岡 祐一, 野田 龍也, 久保 慎一郎, 明神 大也, 今村 知明
2. 発表標題 特定健康診査の糖尿病薬処方に関する質問項目のバリデーション研究
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会2020 優秀口演賞
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中西 康裕, 次橋 幸男, 赤羽 学, 野田 龍也, 明神 大也, 久保 慎一郎, 西岡 祐一, 今村 知明
2. 発表標題 大規模レセプトデータを用いた百寿者及び非百寿者の死亡前医療費の比較
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会2020 優秀口演賞
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 野田 龍也, 今村 知明, 明神 大也, 西岡 祐一, 久保 慎一郎
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB) HIV/AIDSの現在通院患者数の把握
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会2020 口演賞
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 久保 慎一郎, 野田 龍也, 西岡 祐一, 明神 大也, 今村 知明
2. 発表標題 NDBを用いた難病患者(潰瘍性大腸炎)における患者数の推計
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会2020
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 森田 雅士, 西岡 祐一, 岡本 左和子, 小野 孝二, 今村 知明
2. 発表標題 NDBオープンデータを用いた画像検査数の将来推計 タスクシフト・シェアを見据えて
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会2020
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 新居田 泰大, 西岡 祐一, 次橋 幸男, 久保 慎一郎, 明神 大也, 野田 龍也, 今村 知明
2. 発表標題 糖尿病/非糖尿病での死亡時年齢と健康寿命の比較
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会2020
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 宮野 沙帆, 久保 慎一郎, 西岡 祐一, 野田 龍也, 今村 知明
2. 発表標題 透析患者における骨折発症リスク KDBを用いた検討
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会2020
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 今村 知明, 西岡 祐一, 野田 龍也
2. 発表標題 KDBを用いた奈良県における後期高齢者医療費と保険料水準の理論推計
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会2020
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 次橋 幸男, 赤羽 学, 明神 大也, 中西 康裕, 久保 慎一郎, 西岡 祐一, 野田 龍也, 今村 知明
2. 発表標題 医療・介護レセプトデータを用いた人工栄養開始後の療養場所に関する追跡調査
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会2020
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 建部 壮, 吉井 克昌, 西岡 祐一, 今村 知明
2. 発表標題 心肺蘇生を望まない心肺停止傷病者の救急搬送に関する奈良県広域消防組合の対応分析
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会2020
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小川 裕貴, 野田 龍也, 西岡 祐一, 明神 大也, 久保 慎一郎, 今村 知明
2. 発表標題 奈良県における心房細動に対するカテーテルアブレーション治療時の麻酔管理の現状
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会2020
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 貝沼 圭吾, 野田 龍也, 西岡 祐一, 久保 慎一郎, 二村 昌樹, 森田 英明, 佐藤 さくら, 長尾 みづほ, 松本 健治, 海老澤 元宏, 藤澤 隆夫, 今村 知明, 玉利 真由美
2. 発表標題 レセプト情報・特定検診等情報データベースを用いたアレルギー疫学研究 2017年度のアドレナリン自己注射剤の処方状況
3. 学会等名 日本小児アレルギー学会誌 34(4) 498 - 498
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中西 康裕, 次橋 幸男, 赤羽 学, 野田 龍也, 明神 大也, 久保 慎一郎, 西岡 祐一, 東野 恒之, 今村 知明
2. 発表標題 百寿者研究はどこから来て、どこへ行くのか 百寿者の人口動態と大規模レセプトデータを用いた百寿者研究の今後
3. 学会等名 日本老年医学会雑誌 57(Suppl.) 48 - 48
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 金岡 幸嗣朗, 寺崎 智志, 西岡 祐一, 明神 大也, 中井 陸運, 住田 陽子, 添田 恒有, 野田 龍也, 渡邊 真言, 川上 利香, 宮本 恵宏, 今村 知明, 齋藤 能彦
2. 発表標題 ICT、ビッグデータを活用した循環器診療の次のステージ(The Current Status and Future Direction of Real World Data on Cardiovascular Diseases Using JROAD and NDB)
3. 学会等名 日本循環器学会学術集会抄録集 84回 シンポジウム26 - 2 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 紙谷史夏, 新居田泰大, 池茉美香, 西岡祐一, 中島拓紀, 桑田博仁, 岡田定規, 毛利貴子, 樽松由佳子, 石井均, 高橋裕
2. 発表標題 胃切除後後期ガンピングによる意識消失に対して少量ジアゾキッドが有効であった1例
3. 学会等名 第57回日本糖尿病学会近畿地方会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 荒木迪子, 山口千景, 小泉実幸, 中島拓紀, 西岡祐一, 紙谷史夏, 池茉美香, 毛利貴子, 石井均
2. 発表標題 「生き甲斐が無い」と初回栄養指導時に話された肥満糖尿病患者との関わり
3. 学会等名 第7回日本糖尿病医療学学会 2020年10月11日
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 池 茉美香, 樽松 由佳子, 桑田 博仁, 岡田 定規, 毛利 貴子, 紙谷 史夏, 中島 拓紀, 西岡 祐一, 新居田 泰大, 山田 正三, 吉治 仁志, 高橋 裕
2. 発表標題 海綿静脈洞原発異所性ACTH産生下垂体腺腫によるクッシング病
3. 学会等名 日本内分泌学会雑誌 96(2) 504 - 504
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 紙谷 史夏, 榑松 由佳子, 桑田 博仁, 岡田 定規, 毛利 貴子, 中島 拓紀, 西岡 祐一, 池 茉美香, 新井田 泰大, 尾崎 邦彰, 吉治 仁志, 高橋 裕
2. 発表標題 大腸内視鏡を契機に甲状腺クリーゼを発症した高齢者パセドウ病例
3. 学会等名 日本内分泌学会雑誌 96(2) 515 - 515
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中島拓紀、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、東野恒之、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、柴田博仁、毛利貴子、岡田定規、赤井靖宏、今村知明、石井均
2. 発表標題 心血管疾患の1次予防に対するメトホルミン、スルホニル尿素薬及びDPP4阻害薬治療効果の比較：人口 ベースのコホート研究
3. 学会等名 第63回糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岡田定規、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、東野恒之、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、柴田博仁、毛利貴子、中島拓紀、赤井靖宏、今村知明、石井均
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）を用いた臨床研究：糖尿病患者における 遮断薬の投与と重症低血糖
3. 学会等名 第63回糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西岡祐一、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、東野恒之、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、柴田博仁、毛利貴子、中島拓紀、赤井靖宏、石井均、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を用いた自己対照ケースシリーズ研究：インフルエンザ後の1型糖尿病発生率
3. 学会等名 第63回糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 玉城由子、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、東野恒之、小泉実幸、中島拓紀、紙谷史夏、柴田博仁、毛利貴子、岡田定規、赤井靖宏、今村知明、石井均
2. 発表標題 レセプト情報・特定検診等情報データベースを(NDB)を用いた臨床研究：メトホルミンと他の血糖降下薬の変形性関節症手術施行率
3. 学会等名 第63回糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 柴田博仁、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、東野恒之、玉城由子、小泉実幸、中島拓紀、紙谷史夏、毛利貴子、岡田定規、赤井靖宏、今村知明、石井均
2. 発表標題 DPP4阻害薬は水疱性類天疱瘡発症リスク上昇と関連し、そのリスクは服薬開始後90日以内に特に高まる
3. 学会等名 第63回糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 久保慎一郎、西岡祐一、明神大也、野田龍也、東野恒之、玉城由子、小泉実幸、中島拓紀、紙谷史夏、柴田博仁、毛利貴子、岡田定規、赤井靖宏、石井均、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)の臨床研究：死亡ロジックを用いた死亡者の糖尿病/非糖尿病での比較
3. 学会等名 第63回糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 紙谷史夏、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、東野恒之、玉城由子、小泉実幸、中島拓紀、柴田博仁、毛利貴子、岡田定規、赤井靖宏、今村知明、石井均
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を用いた臨床研究：日本全体の下肢切断、糖尿病患者のリスク
3. 学会等名 第63回糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 野田龍也、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、東野恒之、玉城由子、小泉実幸、中島拓紀、紙谷史夏、柴田博仁、毛利貴子、岡田定規、赤井靖宏、石井均、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）を用いた臨床研究：重症低血糖後の硝子体手術施行率
3. 学会等名 第63回糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西岡祐一、野田龍也、明神大也、久保慎一郎、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）を用いた臨床研究：糖尿病を例に
3. 学会等名 官民オープンデータ利活用の動向及び人材育成の取組(2019年度)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 明神大也、西岡祐一、久保慎一郎、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 医療と介護レセプト結合にあたっての課題と解決策
3. 学会等名 官民オープンデータ利活用の動向及び人材育成の取組(2019年度)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉原 真吾, 山名 隼人, 赤羽 学, 岸本 美和, 西岡 祐一, 野田 龍也, 松居 宏樹, 康永 秀生, 今村 知明
2. 発表標題 肝臓癌に対する経動脈的化学塞栓術における予防的抗菌薬と肝膿瘍の関連
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 久保 慎一郎, 野田 龍也, 明神 大也, 西岡 祐一, 今村 知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)の活用 透析患者追跡と死亡数検証
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野田 龍也, 今村 知明, 明神 大也, 西岡 祐一, 久保 慎一郎
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB) 抗HIV薬の処方実態全数把握
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西岡 祐一, 野田 龍也, 明神 大也, 久保 慎一郎, 毛利 貴子, 石井 均, 今村 知明
2. 発表標題 日本の全保険診療患者を対象とした1型糖尿病発症率に関する記述疫学研究
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 加藤 源太, 大寺 祥佑, 明神 大也, 西岡 祐一, 久保 慎一郎, 野田 龍也
2. 発表標題 患者調査におけるNDBデータの利用可能性に関する評価 基本的な集計項目について
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鈴木 誠太郎, 野田 龍也, 西岡 祐一, 明神 大也, 久保 慎一郎, 小野瀬 祐紀, 今村 知明, 上條 英之, 杉原 直樹
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)による糖尿病患者の現在歯数の検討
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 今村 知明, 明神 大也, 西岡 祐一, 久保 慎一郎, 中西 康裕, 次橋 幸男, 野田 龍也
2. 発表標題 健康福祉関連ビッグデータの結合による解析の可能性と問題点
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中西 康裕, 次橋 幸男, 野田 龍也, 明神 大也, 久保 慎一郎, 西岡 祐一, 赤羽 学, 今村 知明
2. 発表標題 大規模なレセプトデータを用いた100歳以上患者と100歳未満患者の医療費の比較
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 明神 大也, 野田 龍也, 西岡 祐一, 久保 慎一郎, 大寺 祥佑, 加藤 源太, 毛利 貴子, 石井 均, 今村 知明
2. 発表標題 ナショナルデータベース(NDB)の活用 糖尿病薬開始率とその患者数
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Crawford B, Ishii H, Takamura H, Nishioka Y, Langer J, Watanabe M, Kim HR
2. 発表標題 Quality of Life and Utility Values for Cost-Effectiveness Modeling in Japanese Patients with Type 2 Diabetes
3. 学会等名 ISPOR Europe 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西岡祐一
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報 データベース (NDB) の活用：わが国の糖尿病薬診療の全体像
3. 学会等名 官民オープンデータ利活用の動向及び人材育成の取組
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 明神大也、大林千穂、吉澤明彦、野田龍也、久保慎一郎、西岡祐一、今村知明
2. 発表標題 病理分野におけるレセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)解析の展望：病理検査の例
3. 学会等名 第107回日本病理学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 久保慎一郎、野田龍也、西岡祐一、明神大也、降旗志おり、東野恒之、瀬楽丈夫、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)に対する死亡決定ロジックの手法開発 R言語による決定木分析を用いて
3. 学会等名 第38回医療情報学連合大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 明神大也、野田龍也、久保慎一郎、西岡祐一、東野恒之、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)利用促進に向けた取り組み 1患者1データ化
3. 学会等名 第38回医療情報学連合大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 加藤源太、田村寛、平木秀輔、大寺祥佑、佐藤大介、奥村泰之、酒井未知、明神大也、西岡祐一、久保慎一郎、野田龍也
2. 発表標題 患者調査におけるNDBデータの利用可能性に関する評価:患者一元化および傷病名特定アルゴリズムの観点から
3. 学会等名 第38回医療情報学連合大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野田 龍也、明神 大也、久保 慎一郎、西岡祐一、東野 恒之、福島 由子、小泉 実幸、中島 拓紀、中上 純子、毛利 貴子、岡田 定規、増谷 剛、赤井 靖宏、石井 均、今村 知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)の利用 日本の全診療報酬情報を用いた糖尿病の疫学分析
3. 学会等名 第61回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石井 均、西岡祐一、福島 由子、小泉 実幸、中島 拓紀、中上 純子、毛利 貴子、岡田 定規、増谷 剛、赤井 靖宏、久保 慎一郎、明神 大也、野田 龍也、東野 恒之、今村 知明
2. 発表標題 日本における糖尿病薬処方の全貌 NDBデータを用いた悉皆調査
3. 学会等名 第61回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 明神 大也、野田 龍也、久保 慎一郎、西岡祐一、東野 恒之、福島 由子、小泉 実幸、中島 拓紀、中上 純子、毛利 貴子、岡田 定規、増谷 剛、赤井 靖宏、石井 均、今村 知明
2. 発表標題 日本の1型糖尿病患者数と年齢別分布 ナショナルデータベース(NDB)を用いた解析
3. 学会等名 第61回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 久保 慎一郎、野田 龍也、明神 大也、西岡祐一、東野 恒之、福島 由子、小泉 実幸、中島 拓紀、中上 純子、毛利 貴子、岡田 定規、増谷 剛、赤井 靖宏、石井 均、今村 知明
2. 発表標題 日本の糖尿病診療の質 プロセスの解析 ナショナルデータベース(NDB)を用いた保険診療全糖尿病患者の検討
3. 学会等名 第61回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西岡祐一、野田 龍也、福島 由子、小泉 実幸、中島 拓紀、中上 純子、毛利 貴子、岡田 定規、増谷 剛、赤井 靖宏、明神 大也、久保 慎一郎、東野 恒之、今村 知明、石井 均
2. 発表標題 日本の保険診療全患者における糖尿病治療薬と入院を要する低血糖/重症低血糖発生リスク
3. 学会等名 第61回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 毛利 貴子、西岡祐一、福島 由子、小泉 実幸、中島 拓紀、中上 純子、岡田 定規、増谷 剛、赤井 靖宏、久保 慎一郎、明神 大也、野田 龍也、東野 恒之、今村 知明、石井 均
2. 発表標題 日本の保険診療全患者を対象としたピグアナイド薬による乳酸アシドーシス入院リスクの検討
3. 学会等名 第61回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西岡祐一、野田龍也、久保慎一郎、明神大也、毛利貴子、石井均、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)：糖尿病患者の急性冠症候群リスク
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野田龍也、久保慎一郎、西岡祐一、明神大也、林修一郎、林修一郎、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)の活用:糖尿病を例にした全国集計
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 久保慎一郎、野田龍也、西岡祐一、明神大也、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)の活用:透析患者追跡と死亡数検証
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 明神大也、野田龍也、久保慎一郎、西岡祐一、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベースの活用:外来処方医薬品のクロス集計
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 加藤源太、大寺祥佑、明神大也、西岡祐一、久保慎一郎、野田龍也
2. 発表標題 患者調査におけるNDBデータの利用可能性に関する評価
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野田龍也、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、東野恒之、峯昌啓、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、紙谷史夏、栗田博仁、毛利貴子、岡田定規、赤井靖宏、石井均、今村知明
2. 発表標題 ナショナルデータベース（NDB）を用いた1億人規模の臨床研究：日本の保険診療糖尿病患者の網膜光凝固/硝子体手術施行率
3. 学会等名 第62回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 栗田博仁、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、東野恒之、峯昌啓、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、紙谷史夏、毛利貴子、岡田定規、赤井靖宏、今村知明、石井均
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）による保険診療の実態調査：日本の糖尿病患者の処方の実態
3. 学会等名 第62回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 毛利貴子、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、東野恒之、峯昌啓、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、紙谷史夏、栗田博仁、岡田定規、赤井靖宏、今村知明、石井均
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）を用いた1億人規模の臨床研究：日本の保険診療患者の糖尿病薬処方開始率
3. 学会等名 第62回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 紙谷史夏、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、東野恒之、峯昌啓、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、栗田博仁、毛利貴子、岡田定規、赤井靖宏、今村知明、石井均
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）を用いた1億人規模の臨床研究：日本の保険診療糖尿病患者の下肢切断術施行率
3. 学会等名 第62回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 明神大也、西岡祐一、野田龍也、久保慎一郎、東野恒之、峯昌啓、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、紙谷史夏、栗田博仁、毛利貴子、岡田定規、赤井靖宏、石井均、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）を用いた1億人規模の臨床研究：日本の保険診療糖尿病患者の死亡率
3. 学会等名 第62回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 久保慎一郎、西岡祐一、野田龍也、明神大也、東野恒之、峯昌啓、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、紙谷史夏、栗田博仁、毛利貴子、岡田定規、赤井靖宏、石井均、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）を用いた1億人規模の臨床研究：日本の保険診療糖尿病患者の透析導入率
3. 学会等名 第62回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡田定規、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、東野恒之、峯昌啓、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、紙谷史夏、栗田博仁、毛利貴子、赤井靖宏、今村知明、石井均
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）を用いた1億人規模の臨床研究：保険診療糖尿病患者の急性冠症候群の発生率
3. 学会等名 第62回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西岡祐一、岡田定規、野田龍也、久保慎一郎、明神大也、東野恒之、峯昌啓、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、紙谷史夏、柴田博仁、毛利貴子、赤井靖宏、石井均、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）を用いた臨床研究：糖尿病患者における重症低血糖と急性冠症候群発生率の関連
3. 学会等名 第62回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 杉山雄大、今井健二郎、井花庸子、西岡祐一、野田龍也、今村知明、植木浩二郎、大杉満、門脇孝
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）特別抽出データより作成した糖尿病診療プロセス指標の感度分析
3. 学会等名 第62回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 明神 大也、野田 龍也、久保 慎一郎、西岡 祐一、東野 恒之、今村 知明
2. 発表標題 NDB利用促進に向けた取り組み - 1患者1データ化 -
3. 学会等名 第23回日本医療情報学会春季学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 久保慎一郎、野田龍也、西岡祐一、明神大也、降旗志おり、東野恒之、瀬楽丈夫、今村知明
2. 発表標題 NDBに対する死亡決定ロジックの手法開発と検証
3. 学会等名 第23回日本医療情報学会春季学術大会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計0件

〔出願〕 計2件

産業財産権の名称 レセプト情報・特定健診等情報データベースにおける患者突合方法及び装置	発明者 今村, 東野, 野田, 久保, 加藤, 西岡, 明神	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許、特開2019-185403	出願年 2019年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 レセプト情報データベースにおける患者の死亡判定方法及び装置	発明者 今村, 野田, 久保, 西岡, 明神, 中西, 東野, 降旗	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許、特願2019-094138	出願年 2019年	国内・外国の別 国内

〔取得〕 計0件

〔その他〕

Researchmap https://researchmap.jp/y_n 奈良県立医科大学公衆衛生学講座教室員紹介 http://www.naramed-u.ac.jp/~hpm/intro_member.html

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------